

令和6年5月21日

東北運輸局観光部観光地域振興課

「令和6年度 東北運輸局によるDMOの伴走支援事業」に係る 課題を検証するモデルDMOの公募について

1. 事業目的

観光地域づくり法人（以下「DMO」という。）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔としての役割を有しています。

これまで、DMOを核とした観光地域づくりに向け、各種補助金による観光地域づくりの支援をするとともに、専門家派遣や例えば、「観光地域づくり法人（DMO）による観光地経営ガイドブック」の出版等、DMOの資質向上にも努めてきたところです。

一方、新規に登録され具体的にどのように進めていけば良いのか明確な方針を有しないDMO、リソースの不足により観光庁の支援を受けることが困難なDMO、その他事由により十分にそのポテンシャルを活かしきれていないDMOも存在します。

そこで、今年度、インバウンド誘客の促進に向けて、個別課題を抱えるDMOからモデルDMOを選定し、東北運輸局と事務局（東北運輸局が別途指定する事務局を指す）が課題の分析や解決に関し伴走支援することで、その課題の解決を図るとともに、併せて、そのノウハウを汎用化し、同様の課題を抱えるDMOに横展開することで、DMO全体の機能強化につなげていくことを目的として本事業を実施することとしました。

このため本公募は、上記趣旨に基づき、東北運輸局による伴走支援を通じて課題検証を実施するモデルDMOを公募するものです。

2. モデルDMOの対象

登録DMOのうち、個別課題によって地域での観光消費等に十分にそのポテンシャルを活用できていないDMOを対象とします。

少なくとも、令和4年度から現在（令和6年度第1次採択の内定通知を含む）まで、「世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業（※）」の採択を受けているDMOは除きます。

※令和4年度、令和5年度事業名：観光地域づくり法人の体制強化

3. 課題検証概要

モデルDMOの課題検証にあたっては、下記テーマに基づく取組を予定しています。詳細については、採択後に別途お知らせします。

【テーマ：マーケティング】

テーマ選定の理由：

DMO の役割として観光地域マーケティングが求められているが、令和5年9月に実施した登録 DMO ヒアリングにより、専門的な知見を持つ人材の確保が東北全体の課題であることがわかった。しかし、マーケティング分野は知識の習得・活用が難しく、人員の流動性も多いため、組織内で知見が蓄積されづらい状況である。そこで「マーケティング」をテーマとし、人材育成、戦略策定等のデジタルマーケティングの知見蓄積に取り組むことが妥当である。

4. 伴走支援

次のような取組を支援します。本事業にかかる経費は国が支弁します。

※申請書に記載例もありますので併せてご確認ください。

(1) 調査

- ・ DMO を取り巻く状況や地域特性
- ・ ターゲット国の訪日旅行者のニーズ
- ・ 販路形成のために必要な事項

(2) 助言

- ・ 検証、企画、立案
- ・ プロモーション（チラシ制作、OTA 掲載等を含む）
- ・ コネクション形成
- ・ インバウンド誘客のための戦略策定

(3) 効果検証

- ・ モニターツアーの企画、立案、実施にかかる費用
- ・ プロモーション（チラシ作成、OTA 掲載等）に係る費用
- ・ コネクション形成にかかる費用（商談会参加経費等）

※次のような取り組みは支援の対象外です。

- ・ 新規システムの開発
- ・ 建物等施設の建設・改修

5. スケジュール

- ・ 公募：5月21日～5月31日17時必着
- ・ 採択：6月下旬予定
- ・ 課題検証（運輸局による伴走支援）、中間評価、最終とりまとめ：8月～3月予定

6. 申請書の提出要領

(1) 提出書類

下記の様式に沿い、電子メールに添付し、提出ください。

様式 1: 「令和6年度 東北運輸局による DMO の伴走支援事業」課題検証モデル DMO
申請書
(Excel 形式)

(2) 申請期限 **令和6年5月31日(金) 17時**

(3) 提出先 東北運輸局観光部観光地域振興課 担当 上野、鈴木 電話番号 022-380-1001 電子メール tht-kanchika@gxb.mlit.go.jp

7. 選定結果の公表

選定結果については、東北運輸局から申請主体(登録 DMO)に対して通知するとともに、東北運輸局のウェブサイトにて選定結果を公表する。